



ベランダの睡蓮

主題

「あなたならできる！きっとできる」

“You can do it! Yes, you can!”



— 生きる しなやかに さわやかに —
— Live flexibly and refreshingly —

みなさま、第19代西日本区理事遠藤通寛です。これから1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。上記の睡蓮、昨年暮れには1センチにも満たず、浮草の様に水面に浮かんでおりました。つい最近このように咲き始めました。越年させるのには工夫が必要です。ワイズメンズクラブも、最初はこのように小さな芽から、先輩たちが大変な愛情と情熱、英知を絞り現在の形になっています。若い芽を大切に育て次代のワイズの森に育てたいものです。

第18回西日本区大会の理事引継式でお話をさせていただきました。私には1つの夢と2つの願いがあります。

1つの夢 はロースター内のDBC・IBCの空欄を埋めること。

お願いは 1. ロールバックマラリア運動をおおいに支援していただきたいこと

2. 5年目を迎えた東北被災地支援とメネット事業国内プロジェクト推進

もりおかクラブ、仙台クラブ、仙台青葉城クラブ、仙台広瀬川クラブが行おうとしている被災地での新クラブ設立のための支援です。

夢・・・DBC・IBC 交流では多くの学びと友情の輪が広がります。新しい入会者の皆様にもワイズの醍醐味を体験していただけることと存じます。新しい扉をあけましょう。眺めているだけでは何も起きません。

お願い 1. ロールバックマラリア運動は現在大変な成果を見せているようです。2000年から2013年の間に死亡率は約47%減少したようです。でもまだ1日約1600人の方が亡くなっているそうです。乳幼児の死亡率は高く、多産は貧困と女性の学習の機会を奪うこととなるでしょう！皆様、救える命を今、救いましょう！

2 被災地支援金は仙台 YMCA 等に於いて大変有意義にお使いいただいております。また、西日本区の各クラブの皆様方の被災地訪問のご様子なども仙台 YMCA のホームページ、また現地で聞くことが出来ました。是非今年度も支援をお願いいたします。また、メネット国内プロジェクトの支援先ですが、宮古、石巻での新クラブ設立には大変なご苦労があります。花巻から宮古までの距離は大変なものですが、出張例会をされて宮古のかたと交流されているようです。石巻も商店街の中にある石巻センター（床が傾いております）などにおいて、皆様設立にむけての活動をされているようです。メネットはワイズの応援団 ご支援宜しく願いたします。YMCA と共に皆様と活動できる事に感謝申し上げます。
第19代 西日本区理事 遠藤通寛



7月の強調月間 EMC-MC



Y's Men's Windows 100(→2022)ワールドへようこそ!

EMC事業主任 小野 ^{ともくに} 勲紘 (西宮)

ワイズメンズクラブは、2022年に100周年を迎えます。2022年には、100クラブ+2022名を達成して、100の窓から2022の顔を出して世界にアピールしたい。そのために、EMCはCMEの順に進めていきましょう。C (Conservation意識高揚) を第一に、充実して満足感 (CS) の高い例会に、全員が個々の役割を果たして、多くの仲間をお招きしましょう。1年間を通してお一人がお一人のゲスト・ビジターを例会にお招きしましょう。そして、ビギナーズ・ブルーに寄り添う“お声掛け”もお忘れなく! (居場所作りは有効期間・賞味期間の3年以内に早めにお召し上がり下さい。支障があればお取替えますのでご連絡下さい。わたしたちがお手伝いいたします。)

今月の聖句

父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。

(ヨハネによる福音書 17章 21節)

聖句黙想

折に触れて耳にするワイズの国際聖句です。これはイエス・キリストが最後にされた、長い講話の後に続く祈りの一部です。神と人をつなぐ「大祭司の祈り」とも言われています。一色になるのではありません、一つになって互いに喜ぶことができるように、私たちの視線を未来に向ける祈りです。

喜びを垣間見ることのできるワイズ活動の背後に、この聖書の言葉と多くの人々の祈りがある事を胸に刻んで今期もスタートしたいと思います。あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。

(ペテロー 4章 10節)

西日本区チャプレン 江見 淑子

第26回アジア地域大会実行委員会から

◇登録締切を延長します。

アジア地域大会の登録締切を6月30日から7月20日までに延長いたします。

日本では16年ぶりの大会です。ご登録をお待ちしております。

◇エクスカーションでの服装

大会2日目のエクスカーションは、観光に加え体験型のプログラムで楽しんでいただきます。屋外でのコースは、動きやすい軽装でスニーカー履きをお勧めいたします。また、縁日コースを申し込まれた方は、できるだけ浴衣を持参いただき、日本の夏祭りの雰囲気作りにご協力ください。更衣室も用意しております。

◇WEB協賛への引き続きのお願い

ユースコンペーションに多くの若者が参加いただけるように登録費を抑えています。WEBバナー協賛でご支援をお願いします。個人5,000円 団体・法人10,000円 申込書は、ホームページからダウンロードできます。

<http://ic2010yokohama.web.fc2.com/kyousankoukoku.htm>

お問い合わせ先 京都センチュリークラブ 片山まで

◇大会プログラム広告協賛のお願い

本大会にも多くのワイズメンが参加していただけるようにと登録費を抑えています。大会でのプログラム冊子に広告協賛によるご支援をお願いします。広告費は10,000円からサイズにより異なります。

お問い合わせ先 京都センチュリークラブ 片山まで

【広場】

< 国際・交流主任の中井信一です >

『交流は、ワイズの醍醐味。ファンズは、ユースの育成』を

事業主題と致しました。クラブや部や国を超えた出会いを楽しみましょう！！就任前に、嬉しい交流が有りました。6月6日に佐古田/次期京都部国際・交流主査にお声を掛けて頂き、京都 ZERO クラブ主催『2015 Charity Summer Live!』@オールディーズライブハウス/アメリカングラフティーズに参加致しました。京都部の皆様も約40名が参加されており、一度で名前を

覚える事が出来ませんでした（笑）、良い機会を作って頂きました。最初は大人しく歓談していましたが、元ワイルドワズスの鳥塚、植田さんの生ライブが始まると一気に会場全体が盛り上がりました。全く初対面のワイズ、ウィメンの皆様とも、ダンスや乾杯・乾杯で大いに交流を深める事が出来ました。船木メン@トップスクラブとも、初対面でこんなに仲良く、打ち解ける事が出来るのはワイズの醍醐味ですねとお話致しました。元ワイルドワズスのお二人とは年齢も近く、元気な歌声をお聞きし、身近でお話も出来ましたので、沢山のパワーも頂戴しました。各部、クラブの皆様も多くのワイズライフの醍醐味を体験する為に、お声を掛けて下さい。遠藤理事チームでお邪魔致します。

最後に、『ファンズはユースの育成』へのご協力も宜しくお願い致します。1年間、元気に楽しく活動致します！！



◇ 各部会開催予定

部	開催日	曜日	開催地：会場	ホストクラブ
中部	2015年9月26日	土	名古屋市公館	名古屋グランパス
びわこ部	2015年10月10日	土	休暇村 近江八幡	近江八幡
京都部	2015年11月1日	日	京都ホテルオークラ	京都
阪和部	2015年9月12日	土	奈良商工会議所ホール	奈良
中西部	2015年9月19日	土	ホテルグランビア大阪	大阪土佐堀
六甲部	2015年9月5日	土	ホテル北野プラザ六甲荘	神戸
瀬戸山陰部	2015年10月31日	土	カトリック姫路	姫路
西中国部	2015年11月14日	土	YMCAコンフォレスト湯来	呉
九州部	2015年10月17日	土	阿蘇プラザホテル	阿蘇

◇ 理事目標

◇ 2015 - 2016 年度 西日本区事業目標

YMCAサービス・ユース献金 (国際ASFを含む) 1人あたり 2,000円	RBM (ロールバックマラリア) 献金 1人あたり 800円
地域奉仕活動 (CS) 献金 1人あたり 1,500円	YES (Y's Extension Support) 献金 1人あたり 200円
TOF (Time of Fast) 献金 1人あたり 1,400円	東日本大震災復興支援献金 合計 200万円
FF (Family Fast) 献金 1家族あたり 800円	E (Extension) 新クラブ設立 + 2クラブ
BF (Brotherhood Fund) 献金 1人あたり 1,500円 (現金+使用済み切手換金分)	MC (Membership & Conservation) 会員数増強 前期末+55名
EF (Endowment Fund) 献金 記念ごと献金 合計 3,000 CHF (スイスフラン)	情報発信 区報年3回、理事通信年12回
JWF (Japan West Y's Men's Fund) 献金 記念ごと献金 1口 5,000円 合計 50万円	LT (Leadership Training) 次期役員研修会、次期会長主査研修会 各1回